

開講 15 周年 アートに学び、アートに生きる 現代アートの学校 MAD2015 受講生募集のお知らせ

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]は、現代アートの学校 MAD (Making Art Different=アートを変えよう、違った角度で見てみよう) を、2015 年 4 月より開講します。15 年目を迎える MAD は、5 つの「ジェネラル・スタディーズ」と、3 つの「アドバンス・スタディーズ」、3 つの「ゼミ」および「MAD フェンバーガニ」から構成されています。






私たちがアートと呼んでいるものは、社会の動向や経済のあり方、また政治と深い関係があります。例えば、今、世界のあちらこちらで叫ばれ、芸術にも大きな問いを投げかけている「表現の自由」を考えると、美術史のみならず哲学思想、文学などの学問は、多くのヒントを与えてくれることでしょう。

現代のアートを知ることは、今の世界の成り立ちを知ること。入門から実践まで、アートを巡るさまざまな議論や現象に触れ、この時代をたくましく生き抜く思考と態度を MAD で身につけましょう。



Designed by 古平正義 (FLAME)

MAD2015 の特徴

-  **基礎から専門まで、座学から実践までを網羅する全 112 のレクチャーやワークショップ**
基礎を学びたい人は、ジェネラル・スタディーズの 5 コースへ
深く学びたい人は、3 つのアドバンス・スタディーズ、3 つのゼミへ
-  **自分の関心やスタイルにあわせて学びたいことを、思いのままに受講できる**
少しずつ学びたい方には、最小 3 コマから受講できるクーポンをご利用ください。
-  **アート界に限らず哲学思想や文学、文化人類学、スポーツ史などの専門家が講師**
さまざまな学問分野から、この時代に表現することを深く考えていきます。
-  **知識はなくても、アートへの愛と熱意があれば大丈夫**
多様な受講生層：学生から社会人、主婦、リタイアした方まで、年齢、職業もさまざま
-  **MAD を受講した多くの修了生がアート界で活躍中！**

MAD2015 無料体験レクチャーを実施

MAD2015 の雰囲気を経験できる無料レクチャーを開催しています。レクチャー後には、講師やスタッフからプログラムの説明を直接聞くこともできます。時間：19:00～20:30 会場：AIT ルーム

- ◎ 1 月 27 日 (火) 世界の注目アート・ニュース 10 選！ - 2015 年のアート・トレンドを大予測
- ◎ 2 月 16 日 (月) 知られざる白い壁の向こうがわ - アート界はどうやって動いている？
- ◎ 3 月 17 日 (火) キュレーターのかとは - 今、キュレーションに何が出来るか？

お得な割引有り

3 月 2 日(月)までのお申込みで受講料 最大 10%OFF

* 一部対象外のプログラムもあります。詳しい受講方法や料金は、MAD2015 の HP をご覧ください。

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 早割 5 | 1 つのお申込みで、 5%割引 |
| 同時割 10 | 2 つ以上の同時申込で、 10%割引 |
| 継続割 10 | MAD 修了生の方は 1 つ以上のお申込みで 10%割引 |

MAD2015 概要

開講日時：2015年4月～12月 平日 19:00～21:00
(但し、土曜日は日中。「MAD フェンバーガー」は、土日開講)
開講場所：AIT ルーム (代官山)、フェンバーガーハウス (長野県佐久市)、
都内近郊美術館ほか
受講料：14,000円+税 (3コマ クーポン) から
主催：NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]
詳細/お申込み方法：<http://www.a-i-t.net/mad/> から



PRESS RELEASE 2015.1.26



MADの様子

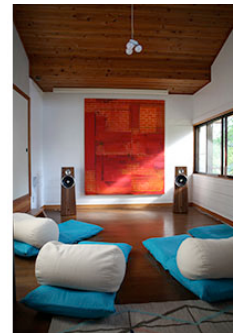
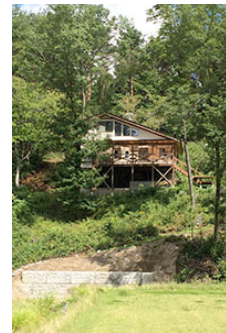
MAD2015 プログラム

👉 アートの基礎を学ぶ「ジェネラル・スタディーズ」

- ◎ キュレーション ～この200年の歩みから、今のアートを考える～
- ◎ アート・ワールド ～アートの現場に近づこう～
- ◎ アーティスト ～「アーティスト」になるための思考力と構想力をつける～
- ◎ スーピー・マガジン ～アートのいちばん熱いところを、より気軽に～
- ◎ M & M Salon ～英語で学ぶ、戦後日本のアートの歩み～

👉 テーマに沿って集中的に学ぶ「アドバンス・スタディーズ」

- ◎ テーマ1: 二つのオリンピックの間で変容するカラダ
- ◎ テーマ2: 地域とはどこか? 芸術祭とは何か?
- ◎ テーマ3: アートの存在論へ -3.11以後から考える



フェンバーガーハウス

👉 少人数制でより専門的に学ぶ「ゼミ」

- ◎ ディスココースのラボ
- ◎ 地球のアーティスト、惑星のアート
- ◎ 何のためのアート? -アートの社会的役割について考える

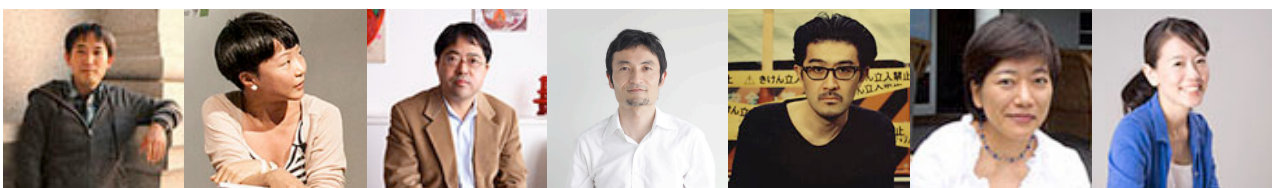
👉 代官山から長野へ! 自然の中で学ぶ1泊2日「MAD フェンバーガー」

- ◎ キュレーションのエコロジー
- ◎ ホール・アース・佐久ツアー
- ◎ ヨガ・リトリート

MAD2015 講師

話題のゲストを多数招き、「いま」起きているアートの動きをいち早くキャッチ

稲垣正浩 (スポーツ史家/21世紀スポーツ文化研究所主幹研究員)、岩崎香 (AIT)、遠藤水城 (インディペンデント・キュレーター)、小澤慶介 (AIT)、小野正嗣 (立教大学文学部文学科文芸・思想専修准教授)、兼松芽永 (芸術の人類学)、小山登美夫 (小山登美夫ギャラリー代表)、佐藤信 (日本学術振興会特別研究員)、澤文也 (インディペンデント・アートディレクター)、沢山遼 (美術批評)、塩見有子 (AIT)、島貫泰介 (美術ライター/編集者)、住友文彦 (アーツ前橋館長)、住吉智恵 (アートプロデューサー/ライター)、芹沢高志 (P3 art and environment 統括ディレクター)、高山明 (Port B)、崔敬華 (東京都現代美術館学芸員)、塚原悠也 (contact Gonzo)、西川美穂子 (東京都現代美術館学芸員)、西谷修 (立教大学文学研究科特任教授)、蟻川敦子 (Take Ninagawa オーナー/ディレクター)、服部浩之 (青森公立大学国際芸術センター青森[ACAC]学芸員)、帆足亜紀 (アート・コーディネーター/横浜トリエンナーレ組織委員会事務局長)、保坂健二郎 (東京国立近代美術館主任研究員)、堀内奈穂子 (AIT)、ロジャー・マクドナルド (AIT)、アンドリュー・マークル (フリーランスライター/編集者)、光岡寿郎 (東京経済大学専任講師)、宮永愛子 (美術家)、森弘治 (美術家/ARTISTS' GUILD 共同代表)、吉本光宏 (ニッセイ基礎研究所研究理事)



小野正嗣

崔敬華

小山登美夫

住友文彦

高山明

帆足亜紀

宮永愛子

写真: 名和真紀子

Photo by: 松蔭浩之

MAD に関するお問い合わせ: 特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]

担当: 岩崎/大隈 Email: mad@a-i-t.net Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266



MAD 受講後はどこへ？

自分らしいアートとの関わり方を見つけた修了生達をご紹介します

MAD では開講から 14 年間、**1,900 人以上**が、「アート界でプロとして働きたい」、「新たなプロジェクトを立ち上げたい」、「アートと社会をつなげたい」、「新しい考え方を身につけたい」など、様々なモチベーションで受講し、**自分らしいアートとの関わり方**を見つけ、修了後は様々な形で活躍しています。

ケース 1

西川美穂子さん（東京都現代美術館学芸員）2002 年度 MAD キュレーション修了 *MAD2015 ゲスト講師



一般企業に就職後、慶應義塾大学大学院美学美術史学科にて修士取得。2004 年より現職。主な企画展覧会に『MOT アニュアル 2012 Making Situations, Editing Landscapes 風が吹けば桶屋が儲かる』（2013 年）などがある。

[コメント] 一番の大きな収穫は、場は自分で作れば良いと思えたことです。AIT は、MAD という学びの場に限らず、美術館にも商業ギャラリーにも出来ないような、誰もが使えるオルタナティブな場を作っていて、その考え方に共感しました。

ケース 2

島貫 泰介（美術ライター & 編集者）2007 年度 MAD キュレーション・プラクティス修了

*MAD2015 ゲスト講師



美術大学卒業後、カメラマンアシスタント、美術館勤務を経て、『美術手帖』や『アサヒカメラ』、カルチャーニュースサイト「CINRA」などに記事やレビューを執筆。

[コメント] 授業に出ているといろんな人の話を聞く機会がありますよね。それが面白かった。特に森美術館館長の南條史生さんがゲストの回は印象に残っています。数年がかりで企画をかたちにしていく美術館の仕事のスケール感を実感できました。

その他、MAD 修了生のインタビューをHPで公開中！>> <http://www.a-i-t.net/interview/>

✎ 受講生データ

- 受講者数：約1,940名
- 年齢の幅：19才～82才
- 社会人受講生の業種：金融、シンクタンク、IT、マスコミ、建築、デザイン他
- 修了生の所属、あるいは立ち上げた組織：
 - > 美術館：東京都現代美術館、森美術館、三菱一号館美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
 - > ギャラリー：SCAI THE BATHHOUSE、オオタファインアーツ、ARATANIURANO、青山 | 目黒
 - > 企業 / 行政：日経新聞社、朝日新聞出版、東京都文化発信プロジェクト室、東京都生活文化局
 - > その他：BankART1929、アートフェア東京、Tokyo Art Beat、CAMPほか多数
- 修了生の留学先：Goldsmiths College, University of London、Edinburgh College of Art、Chelsea College of Art and Design、Royal College of Art、Sotheby's（イギリス）、Columbia University、Harvard University、California College of Art（アメリカ）、Ecole des Beaux-Art（フランス）ほか

☆ MAD 開講 15 周年を記念したイベントを開催予定です。詳細は後日、HP などにてお知らせいたします☆

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]について

現代アートを考えるさまざまな「場」をつくるため、2001 年に設立した NPO。アーティストやキュレーター、美術館 やギャラリーのほか、企業、財団、行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝えています。www.a-i-t.net